

令和5年度 学校評価

本年度の重点目標	(1) 生徒一人一人の多様な夢を実現させる (2) 個々の事情を踏まえたきめ細やかな指導を推進する (3) 挨拶の励行と感謝の気持ちをもたせる (4) 本校の魅力を積極的に発信する (5) アフター・コロナへの対応			
項目	(担 当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学習指導	(教務部)	学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。 ・観点別学習状況の評価方法についての研究に取り組み授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科と協力し、基礎的、基本的な知識、技能を身に付けさせるとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を育成する。 ・各教科内で観点別学習の評価方法について研究だけでなく、教科主任会・職員会議をとおして、全教員で評価方法などの情報共有することにより、授業改善につなげる。
	(総合企画部)	創造性と意欲あふれる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を中心に自ら主体的に考えて取り組み、積極的に行動できる姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習や個人学習を活用して、自ら積極的に考えて行動でき、まとめ・発表する環境を整備する。 ・全学年発表会を体育館で行えるよう設定し、学びの更なる進化と一層の広がりに繋げる。
生徒指導	(生徒指導部)	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻・欠席の減少、端正な身だしなみで学校生活を送れるようにするなど、生徒の基本的生活習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の登校指導、毎月の身だしなみ指導、多遅刻者への朝登校指導やレポート指導など、生徒の実情に応じてきめ細やかな指導を行っていく。
		交通安全教育の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関と連携し、交通安全教育の強化を図る。 ・朝の登校指導を毎日職員で行う。 ・登下校時の自転車による事故を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車学校から講師を招き交通安全講話を行う。 ・朝の登校指導を継続的に行い、登校時の交通ルール・マナーを遵守させる。 ・学校周辺の交通危険箇所を集約し、教室に交通事故ハザードマップを掲示し、注意喚起する。
	(1年学年会)	自主・自律・チャレンジ精神の育成と・コミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の活動を増やし、自主性・自律性を育み、自己管理能力を高めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒ができることはなるべく生徒自身で考えさせたり、話し合わせたりして、コミュニケーション能力の向上を図り、主体的な活動を支援する。
			<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことに挑戦させ、成功や失敗したことから生まれる様々な経験により、協調性や社会性、豊かな心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で情報を共有し、機動力のある組織の構築を目指す。また、生徒の個性を伸ばせるよう、長所を伸ばしていく指導を心がけ、適切な声かけをする。
	(2年学年会)	自主的・主体的に活動する意識と自律の精神と規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路のための準備期間という自覚を持たせて、自ら調べて行動する力を育成する。また、自主的・主体的に学校行事や日常の教育活動に取り組む姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から進路に対しての声掛けをする。 ・生徒に進路情報を伝える。 ・ITを利用して修学旅行に向けての準備や学びを自主的にできるように声かけをする。
			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士や生徒と教員との関わりを通して自己肯定感を高め、自律の精神と規範意識を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会や日々のHR活動において学年としての意識を醸成する。 ・学年内で生徒情報の共有を密に行い、チームとして生徒を見守り、声かけをする。
(3年学年会)	自主・自律の精神を養うとともに、社会で通用する自己像の確立と協調性の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級学年としての自覚を持たせ、主体的に情報を収集し、的確に判断して行動できるよう働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の考えを尊重し、生徒と教員がお互いに理解しあえるような指導に努める。 ・生徒が主体的に行動をする一助として、的確な発問を与えるよう努める。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・他者と互いの価値観を認め合うことで協調性を高めるとともに、進路実現に向けて自己の研鑽に励むよう働きかけ、社会で活躍するための自己像を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導や学校生活を通して、社会人となることを意識させる。また、そのために必要な行動や、あるべき姿について考えさせるとともに、他者と共有し、認め合える環境を整えるよう努める。 	
進路指導	(進路指導部)	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を中心に、生徒が社会や自己の進路について主体的に考え、進路目標を定め、目標に向かって具体的かつ計画的に行動できる姿勢を養う。 ・学校内外での進路行事への参加を通して、職業観を醸成し、進路目標に対する生徒の意識の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業担当者との連携を密にし、効果的なキャリア教育が推進できるように留意するとともに、地域や社会の在り方、自らのライフプランにも意識を持てるように指導する。 ・多様な進路希望に応じた内外の行事を紹介、企画しつつ、生徒が特定分野に偏ることなく、職種・校種・分野等を比較検討できるよう留意する。
		進学指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTや外部業者の教材等を用いて基礎学力の定着を図るとともに、補習、外部模試を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後指導を充実させるとともに、対全体、対個人を使い分けながら、教科・受験指導を教職員全体で行うようにする。
		面接・論作文指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生徒の特質、試験方式等を踏まえ、個に応じたきめ細かな指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の教職員に偏ることなく、教職員全体を挙げて面接・論作文指導に関われるよう、組織的な指導体制を構築する。
健康安全	(保健部)	保健委員会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・環境衛生検査、校内美化活動の補助、毎日の健康調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動を充実させることにより、健康や環境美化に関する生徒の意識を高める。
		健康観察の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・Teamsを利用して毎日の検温結果を迅速に把握し、生徒の健康状態をしっかりと理解する。 ・生徒の心と体の問題の早期発見・早期対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi環境のない生徒については紙の健康観察票を提出させるなど、生徒の置かれている環境に応じた対応をする。 ・生活意識調査を実施し、生徒の状況把握につとめる。 ・スクールカウンセラー等の外部機関との連絡を緊密にする。
防 災	(生徒指導部)	防災意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・避難防災訓練・講話を行い、防災意識を高揚させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路を図式化したものを教室掲示し、避難経路を確認しやすくする。 ・地震・防水ハザードマップを生徒指導室前に掲示し、生徒の防災意識を高める。
特別活動	(生徒会部)	生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の見直し。 ・運営行事の合理化。 ・アフターコロナに合わせた生徒会活動の活性化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科に見合った行事の検討をする。 ・教員、生徒の負担の軽減を図る。 ・学校行事など課外活動を従来の形にするとともに、アフターコロナに見合った生徒会活動を目指す。
		課外活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の在り方について検討する。 ・ボランティア活動の推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の登録など本校の新たな方針を見出す。 ・校内外を問わずボランティア活動を積極的に企画する。